

今週のお祈り 復活節第2主日特祷  
 全能の父よ、あなたはわたしたちを罪から救うために、独りのみ子を死に渡し、また義とするためによみがえらせてくださいました。どうか悪意とよこしまのパン種を除き、常にまことの信仰と清い行いをもってあなたに仕えさせてください。主イエス・キリストのいさおによってお願いいたします。アーメン



号外 193  
 発行日 2024年 4月7日

この春に新入園・新入学を迎える皆さん、おめでとうございます！すべての皆さんの上に神様の祝福が豊かにありますよう、そして素晴らしい1年になりますようお祈りしています。ぜひ教会にも来てくださいね

今週の聖書 ヨハネによる福音書 20:19-31

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちは、ユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸にはみな鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20 そう言って、手と脇腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。21 イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなたがたを遣わす。」22 そう言うてから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 誰の罪でも、あなたがたが赦さなければ、その罪は赦される。誰の罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されなまま残る。」24 十二人の一人、デイデイモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。25 そこで、ほかの弟子たちが、「私たちは主を見た」と言うのと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をその脇腹に入れなければ、私は決して



聖書からのメッセージ 司祭 橋本 克也

イエスは、「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いです。」とトマスに言われました。弟子たちは迫害を恐れ、また十字架から逃げ去ってしまった自分にも痛みと恐れを抱いて、しっかり鍵をかけて不安のうちに閉じこもっていました。復活の主は、その真ん中に立ち、息を吹きかけ聖霊を与えます。復活は信ずる者が、今、新しい「いのち」を生きる者とされることです。そして、「信じる者」とされた私たちも、復活の証人とされて、新しい命を生きる者、また伝える者とされるのです。

信じない。」26 八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。あなたの手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」28 トマスは答えて、「私の主、私の神よ」と言った。29 イエスはトマスに言われた。「私を見たから信じたのか。見ないで信じる人は、幸いです。」30 このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。31 これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じて、イエスの名によって命を得るためである。